

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスはなはな		
○保護者評価実施期間	2025年3月5日 ～ 2025年3月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年3月21日 ～ 年 月 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所のスタッフから共感的に支援を行う。	子ども達と一緒に共感することで、達成感を味わい自信にも繋げていく。また保護者に伝えることで成長を実感出来るようにしている。	様々な気持ちに対しても共感し、相手の思いにも気づけるようにしていく。
2	スタッフ同士の連携を取る。	毎週のミーティングや毎日の時間の合間で、利用児童の情報の共有や困ったことなど、些細な気づきを話す機会を設けている。	話しやすい雰囲気作りを各職員が意識している。
3	スタッフの目の届きやすさ。	活動中は常に子ども達の状況を確認、把握しており、子ども達が安心して過ごして貰えるようにしている。子ども達同士で何かあれば、すぐにスタッフが間に入ることが出来るような体制にしている。	子ども達、スタッフがどこで何をしているのか把握して、確認と声かけを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会	以前、講師に来ていただき、家族向けの研修会を開催したこともあったが、現在では行っておらず、またペアトレ等も行えておりません。必要に応じて育児相談などは行っています。日々の業務に手一杯の状況にあり、企画開催には至っておりません。	今回、保護者の方からの要望もありましたので、必要とされていることに関して検討していきます。
2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていく。	基幹相談支援センターの相談支援員や関わりのある相談支援員からは丁寧な支援をしているので、相談に来られた方でニーズに合えば、いつも紹介したいと言っていた代いはありますが、きちんとした外部評価までには至っていません。	外部評価のあり方を学び、検討していく。
3			